

第 8 回 総括検討会 議事録

1 . 開催日時：平成 19 年 6 月 8 日（金）10：00～12：00

2 . 開催場所：日本電気協会 4D 会議室

3 . 出席者：（順不同，敬称略）

- 委員：柴田主査（東京大学名誉教授），原副主査（東京理科大学），久保副主査（東京大学），白井幹事・金谷（関西電力），土方・酒井（東京電力）植田（日本原電），金津（電中研），久野（中部電力），清水（大林組），中川（日立），吉賀（三菱重工業），神地（竹中工務店），小川（清水建設），森山（大成建設）藪内（鹿島建設）中島（東芝），（計 18 名）
- 代理出席：西村（東京電力・野田代理）（計 1 名）
- オブザーバ：豊田（電力中央研究所）（計 1 名）
- 事務局：大東、荒木（日本電気協会）（計 2 名）

4 . 配布資料

資料 No.8-1 第 7 回総括検討会議事録（案）

資料 No.8-2-1 JEAG4601 の仕様規定化について

資料 No.8-2-2 第 1 章 基本事項

資料 No.8-2-3-1 第 2 章 耐震重要度分類

資料 No.8-2-3-2 同上 附属書 2.1 各設備の具体的な重要度分類

資料 No.8-2-3-3 同上 附属書 2.2 地震時又は地震後に動的機能が要求される設備

資料 No.8-2-4 第 7 章 機器配管系の耐震設計のうち 7.1 基本事項

資料 No.8-3 規格策定基本方針の耐震部分の見直し案について

5 . 議事

（ 1 ）代理出席者の承認及び前回議事録の確認

本日の代理出席者は 1 名であり、代理出席者については規約に基づき柴田主査の承認を頂いた。また、代理出席を含む出席委員は 19 名であり、規約上、決議に際して求められる委員総数の 2 / 3 以上の出席であることが確認された。

（ 2 ）主査の選任

柴田主査は前回選任以降、任期 2 年を経過のため、規約に基づく主査選出手続きを行った。主査候補として柴田委員が推薦され、その他候補者の推薦がないことを確認した後、挙手による決議を行った結果、出席委員 19 名のうち候補者本人を除く全員の賛成で、柴田委員が主査に選出された。その後、柴田主査より、副主査として原委員と久保委員が、幹事として白井委員が指名された。

（ 3 ）前回議事録案の確認

事務局より前回議事録（案）の紹介を行い、出席者全員の賛成で了承された。

(4) JEAG4601の仕様規定化について

資料 No.8-2-1 により、JEAG4601の仕様規定化の進め方について方針が説明され審議した。

コードとして制定する部分については、以下のコメントをふまえ、本資料の方針で仕様規定化を進めていくことについて、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

- ・7章を対象として記載しているが、各検討会共通の資料として見直したほうが良い。

(5) 第1章 基本事項 及び第2章 耐震重要度分類

資料 No.8-2-2 及び資料 No.8-2-3-1～3 により、第1章 基本事項 及び第2章 耐震重要度分類について、説明が行われ質疑・討議を行った。

主なコメントを以下に示す。

(第1章 基本事項)

- ・1.3.2 耐震設計に適用する地震動のS sの部分で、ガイドとして制定する地震動策定の章を引用しているが、コードとして認められるか。

本来はなるべく避けるべきものだが、完全なコード化が難しい部分もあり、我々の考え方を整理して対応する。

(6) 第7章 機器配管系の耐震設計のうち7.1基本事項

JEAG4601の仕様規定化の方針に沿って見直した7章の例として、7.1基本事項について説明が行われ、質疑・討議を行った。

主なコメントを以下に示す。

- ・7.1.1 適用範囲の解説で、非線形弾塑性解析 非線形弾性解析に修正のこと。

(7) 規格策定基本方針の耐震部分の見直し案について

資料 No.8-3 により 規格策定基本方針の耐震部分の見直し案について説明が行われ、質疑・討議を行った。

主なコメントを以下に示す。

- ・必要性調査の運転実績には、地震被害調査を含むと考える。

また新たな知見について常に「把握」の記載は、「活用」に修文のこと。

- ・SCや杭打ち等の別に定めた指針は、いずれ4601に吸収するのか、又は別のままとするのか。

現状の記載案では、規程・指針の定期改定の際に適切かつ迅速に反映できることが重要となっているが、表現が強すぎないか。

次回改定時に必ず反映と取られない様に記載を再検討する。

- ・他の分科会の書き方と同様に、始めに「基本方針」の項を起こして整理したらどうか。

- ・確率的安全評価手順 確率論的安全評価実施基準に修正のこと

以上